

2023年12月22日

株式会社 電通九州

代表取締役 社長執行役員 鈴木 亨

(株)電通九州、佐賀県杵島郡白石町と地域活性化に関する包括連携協定を締結  
「あたらしい種をまこう。さあ、次の白石町へ。」

株式会社電通九州(本社:福岡県福岡市、代表取締役社長執行役員 鈴木亨)は、2023年12月21日に、佐賀県杵島郡白石町(町長 田島健一)と、白石町の交流人口・関係人口・移住定住人口の維持や増加、産業振興、住民サービスの向上などに取り組むこと、またそれらに対して総合的なブランディング活動を行い、地域課題を解決する、地域活性化に関する包括連携協定を締結いたしました。白石町は、平成17年1月1日に旧白石町、旧福富町、旧有明町が合併し誕生しました。佐賀県の南西部、佐賀市中心部から25km圏内に位置し、北は六角川を境に大町町、江北町、小城市に、西は武雄市及び嬉野市に、南は塩田川を境に鹿島市に接し、東南部は有明海に面しています。町西方の杵島山系から東方へ広がる広大な白石平野は、古く弥生時代から自然陸化し、中世より現代まで幾多の干拓事業で造成された土地です。特色としては粘質土壌で、特産の玉ねぎやレンコンをはじめとする野菜や米・麦の栽培などにとって好適地帯となっています。また、六角川や塩田川をはじめとする川は、地域にうるおいを与えながら、宝の海とも言われる有明海に注いでいます。このように新町全体をみると、山と平野、川と海といった美しく個性豊かな自然が一体として揃っています。

電通九州は総合的な観点から白石町のさまざまな課題解決に向けて取り組むとともに、魅力あふれる白石町の「タウンブランディング」を構築し、町内外に向けて情報発信の支援をいたします。



## 佐賀県杵島郡白石町との地域活性化に関する包括連携協定に基づく主な取り組み事項

(※協議・検討中の事項を含む)

白石町との地域活性化包括連携	主な取り組み事項
交流人口・関係人口の増加、移住定住の促進	自然豊かで穏やかな生活や地域で見守る子育て環境など、これまで培われた風土はそのままに、企業誘致や交流・関係人口の創出、子育て世代の移住定住施策に取り組みます。
産業振興	農業や漁業といった地場産業に新たな価値や魅力を付加する取り組みを提案、デジタルシフトをはじめとするDX施策へ働きかけ、若者興味を喚起する新たなコンテンツを創造するなど地場産業の活性化に取り組みます。
住民サービスの向上	「人と大地がうるおい輝く 豊穡のまち 白石町」の基本理念のもと、すべての町民が健康で快適に暮らせるまちの実現に向けて、デジタル技術を活用した新たな生活サービスの提供を訴求していきます。
総合的ブランディング活動	上記を含めた総合的なタウンブランディングに取り組み、白石町の魅力を広く内外に情報発信していきます。
その他目的を達成するために必要な事項	活気あるまち、安定し存続するまちを目指し、若い単身者、子育て世代が住みやすい・住みづけたいと思う住環境の整備と、安心して子育てができる環境づくりに取り組みます。





「あたらしい種をまこう。さあ、つぎの白石町へ。」イメージビジュアル



さあ、つぎの白石町へ。白石町 × dentsu kyushu

電通九州と白石町は、この包括連携協定のもと、白石町ブランドの核となる考え方を整理、再構築し、元々魅力的であった白石町の地域資源に更なる磨きをかけていきます。また、農業をはじめとする地域産業の課題に取り組み、住民サービスの向上も果たしながら、そのプロセスを町内外に情報発信し、白石町の理想の姿に向かって共に歩んでまいります。



本件に関するお問合せ

株式会社電通九州 地域価値共創局 地域価値共創部 TEL092-713-2616